

6月9日

修院長コロンバ

Columbanus (Iona)

(521.12.7~597.6.9)

～アイルランドの守護聖人～

<人名事典などでの別表記：コロンバーヌス>

コロンバはイオナ（アイオナ）などで活躍した人物で、アイルランド、そしてスコットランドの守護聖人とされています。

コロンバは、イングランドや北ヨーロッパがキリスト教徒ではないゲルマン人によって席卷されていた時代、アイルランド北西部のカウンティ・ドニゴールのガータンに生まれます。一説によると、彼の誕生はアイルランドの主教であり、コロンバと同じアイルランドの守護聖人であるパトリック（385頃～461頃）によって預言されていたと言われます。彼は修道士としての訓練を受け、のちに修院長となります。そしてアイルランドにいる時代には、デリ、ドゥロウ、ケルスや他の地に修道院を建てていきます。

しかし信仰上の争いから迫害を受け、563年、コロンバは12人の同志とともにアイルランドを離れ、ピクト人のいるスコットランド南西のアイオナに渡ります。そこに彼は大きな修道院を建てますが、その場所を拠点に34年の間、周辺の地域に福音を伝える活動をおこなっていきます。

その時にピクト人の王ブルードに対して、キリスト教を伝え、その結果ブルード王が信仰をもつようになったため、ピクト人の使徒



「聖コロンバ」

John R Skelton (1906)

とも呼ばれるようになります。

そして、彼の建てた教会や修道院は、アイルランドとスコットランドのケルト的キリスト教の基礎を担うこととなります。特にアイオナに建てられた大修道院は、スコットランドにおけるキリスト教文化の中心的役割をもつものでした。

アイオナの修道院長アダムナンによると、彼は背が高く、たくましい体をしていたということです。そして、キリスト教の奇跡や預言を、アイオナにもともとあった伝統と結びつけながら、巧みに説明をしていたそうです。彼の弟子には、ヨーロッパ各地にケルト的修道院制度を伝えた聖コロンバーヌス（540～615）がいます。二人は同じ名前であるため、このコロンバーヌスを小コロンバーヌス、ここで取り上げているコロンバ（コロンバーヌス）を大コロンバーヌスと呼ぶこともあります。

<特禱>

全能の神よ、あなたの恵みによって聖霊の愛の炎をその心に燃やした修院長コロンバは、公会の燃えて輝く光となりました。どうかその信仰と愛によってわたしたちを燃え立たせ、光の子として常にみ前を歩ませて下さい。主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン